

## 土木フェスタ in マリンポート 2019 開催される！

「土木フェスタ in マリンポート 2019」(主催・(一社)鹿児島県建設業協会・鹿児島県建設業青年部会)が、11月16日(土)、鹿児島市のマリンポートかごしまで、鹿児島県土木部、建設事業イメージアップ連絡協議会((社)土木学会西部支部、国土交通省鹿児島国道事務所、国土交通省鹿児島港湾・空港整備事務所、鹿児島県、鹿児島市、西日本高速道路(株)鹿児島高速道路事務所、鹿児島県測量設計関連団体協議会)、鹿児島大学工学部海洋土木工学科、(公財)鹿児島県建設技術センター、鹿児島県港湾漁港建設協会、鹿児島県市町村社会基盤整備推進協議会、鹿児島県舗装協会、(一社)鹿児島県電設協会、及び鹿児島県建設業協同組合連合会等の後援を得て開催され、好天にも恵まれ家族連れなど約5,500名が来場された。

「土木フェスタ」は、11月18日の「土木の日」の行事の一環として開催しており、今年は「どんどん土木がすきになる」をテーマに、私たちの暮らしを護り支えていく「土木」を見て、触れて、理解していただき、「土木」に対するイメージアップを図るとともに、業界の喫緊の課題である「建設業の将来の担い手確保・育成」に寄与することを目的としている。

建設業青年部によるバックホウや高所作業車の建設重機体験コーナーは、子供たちの長蛇の列ができるなど毎年大人気で、オペレーターの補助を受けながら、笑顔で操作を楽しんだ。また、砂防ダム実験や土のう重さ当てクイズ、おもちゃすくい、ご当地キャラクターの集合、スタンプラリーなどを通じて、公共事業の果たしている役割や土木の魅力を広くアピールすることができた。

この他、国道事務所をはじめ14の団体が出展し、災害対策車の展示や波消しブロック体験、レンガアーチ模型橋の実演、パネル展示、歩測距離証明写真入りカレンダーの作成、VR体験、地盤災害模擬実験、ICT建機試乗体験、自衛隊の装甲車の展示などが行われ、関係団体が様々な角度から、「土木」の魅力を伝え、来場者にその役割や必要性などをアピールした。

また、子ども遊びゾーンでは、〇×クイズや占いコーナー、けん玉教室、幼稚園のマーチング、射的ゲーム、ストラックアウト、コンクリートメダル作成、自衛隊制服試着コーナーなどが設けられ、子どもたちの長い列ができた。

